

## 国際原子力機関 (IAEA)<sup>\*1</sup>によるALPS処理水の海洋放出に関する安全性レビュー (放出開始後3回目) が実施されました。

- ▶2024年12月9日から12日にかけて、IAEA職員及び国際専門家<sup>\*2</sup>からなるIAEAタスクフォース(調査団)が来日し、ALPS処理水の海洋放出について、海洋放出開始後3回目<sup>\*3</sup>の安全性レビューがおこなわれました。
- ▶同レビューで、経済産業省や当社の担当者から、ALPS処理水の放出実績や海洋放出開始以降の海域モニタリングの実績等について説明を行い、IAEAタスクフォースとの間で議論したほか、IAEAタスクフォースは、福島第一原子力発電所で放出関連設備の状況確認を行いました。
- ▶また、放出開始後1年間の放射線環境影響評価(右図参照)について議論が行われました。
- ▶IAEAのプレスリリースによれば、今回のレビューの結果は、IAEAから後日公表される報告書にまとめられる予定です。
- ▶当社は、IAEAタスクフォースによる安全性レビューに、引き続き、真摯に対応してまいります。



オープニングセッションでのIAEAタスクフォース団長 [2024年12月9日 外務省]



測定・確認用タンクの確認 [2024年12月11日 福島第一原子力発電所]

<sup>\*1</sup>:原子力の安全・平和的利用のために活動する国連関連機関 <sup>\*2</sup>:アルゼンチン、英国、カナダ、韓国、中国、フランス、米国、ベトナム、ロシア  
<sup>\*3</sup>:過去2回のレビュー報告書(2024年1月、同7月公開)では、「関連する国際安全基準の要求事項と合致しない点も確認されなかった」との結論が述べられています。

